長い文章を読んでえらぼう

小4／少し長い文章を読んで、文章に書いてあることを2つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　こん虫の冬ごしを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

こん虫は、まわりの温度によって体温が変わる生き物です。そのため、寒い冬には活動できず、それぞれのすがたで冬をこします。カマキリはたまごのかたまりで、テントウムシは成虫のまま落ち葉の下に集まって、モンシロチョウはさなぎで冬をこします。あたたかい春になると、また活動を始めます。

1. カマキリは、たまごのかたまりのすがたで冬をこす。
2. テントウムシは、成虫のまま落ち葉の下に集まって冬をこす。
3. トンボの多くは、よう虫のすがたで池や川の水の中で冬をこす。
4. アゲハチョウは、さなぎのすがたで冬をこす。
5. コオロギは、たまごのすがたで土の中で冬をこす。

2　水のじゅんかんを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

海や川、地面の水は、太陽に温められて水じょう気になり、空へのぼっていきます。空の高いところは冷たいので、水じょう気は小さな水のつぶにもどって雲になります。雲のつぶが大きく重くなると、雨や雪となって地上に落ち、また海や川へと流れていきます。水はすがたを変えながら、地球をめぐっているのです。

1. 朝、草の葉につく水のつぶを、つゆという。
2. 空の高いところは、地上より冷たい。
3. 地上に落ちた雨や雪は、やがて海や川へ流れていく。
4. 空気中にある水じょう気は、わたしたちの目には見えない。
5. 海の水が水じょう気になるとき、塩は海に残る。

長い文章を読んでえらぼう

小4／少し長い文章を読んで、文章に書いてあることを2つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　じしゃくの性質を よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

じしゃくは鉄を引きつけますが、どうやアルミニウムは引きつけません。じしゃくには必ずN極とS極があり、ちがう極どうしは引き合い、同じ極どうしはしりぞけ合います。じしゃくを自由に動けるようにすると、N極がいつも北を指して止まります。この性質を利用したものが方位じしんです。

1. 鉄のくぎをじしゃくで何度もこすると、くぎもじしゃくになる。
2. じしゃくの力は、はなれるほど弱くなる。
3. じしゃくは、どうやアルミニウムを引きつけない。
4. 方位じしんは、じしゃくのN極が北を指す性質を使っている。
5. 地球も、大きなじしゃくのようなはたらきをしている。

2　花から実へを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

多くの植物は、花をさかせて実をつくります。花の中でつくられた花ふんが、めしべの先につくことを受粉といいます。受粉すると、めしべのもとがふくらんで実になり、その中にたねができます。花ふんは、こん虫が運んだり、風に飛ばされたりして、めしべへと運ばれます。

1. 花ふんがめしべの先につくことを、受粉という。
2. アサガオは、花がさく前につぼみの中で受粉する。
3. 受粉したあと、花びらは役目を終えてかれていく。
4. 受粉すると、めしべのもとがふくらんで実になる。
5. めしべの先は、花ふんがつきやすいようにべたべたしている。

長い文章を読んでえらぼう

小4／少し長い文章を読んで、文章に書いてあることを2つえらびましょう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1　太陽と影の動きを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

晴れた日、太陽は東からのぼり、南の空を通って西にしずみます。太陽の光が物にさえぎられると、その反対がわに影ができます。だから、朝は影が西に長くのび、太陽が高くなる昼には影は短くなり、夕方にはまた東に長くのびます。日時計は、この影の動きを利用して時こくを知る道具です。

1. 太陽は、東からのぼり南の空を通って西にしずむ。
2. 同じ時こくの影の長さは、夏よりも冬のほうが長い。
3. 影の動きを使えば、時こくを知ることができる。
4. 日時計の影は、時計の針と同じ向きに回っていく。
5. 太陽は、夏のほうが冬より高い空を通る。

2　ごみのゆくえを よんで、文章に書いてあることを2つえらびましょう。

わたしたちが出すごみには、もえるごみ・もえないごみ・資源ごみなどがあります。資源ごみとして分けて出されたかんやびん、ペットボトルは、工場でとかされたりくだかれたりして、新しい製品に生まれ変わります。これをリサイクルといいます。ごみを正しく分けることは、限りある資源を大切に使うことにつながります。

1. 分けて出した紙は、新しい紙に生まれ変わる。
2. 分けて出したかんやびんは、新しい製品に生まれ変わる。
3. ごみを出す日は、ごみの種類ごとに決まっている。
4. もえないごみは、うめ立て地に運ばれてうめられることが多い。
5. ごみを正しく分けると、限りある資源を大切に使える。